

エコアクション21 環境経営レポート 2022年度



2022年3月～2023年2月
2023年6月2日発行

日栄インテック株式会社



®環境省

エコアクション21
認証番号 0009334

目次

1	組織の概要	1
2	対象範囲	2
3	環境経営方針	3
4	環境経営目標	4
5	環境経営計画（実施体制を含む）	5-6
6	環境経営目標に対する実績値と評価	7-9
7	環境経営目標と計画の結果と評価、並びに次年度の目標・計画	10
8	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	11
9	代表者による全体の評価と見直し・指示	12
	別表 事業所別電力排出係数	13

1 組織の概要

事業者名	日栄インテック株式会社		
代表者名	代表取締役 高橋 善晴		
所在地	本社 東京都荒川区西尾久7-34-10		
設立	1978年4月		
資本金	4億9千万円	従業員数	542名
売上高	400億円（連結・2022年2月期）		
許認可等	特定建設業 東京都知事（特-3）第154139号 ISO9001（新潟工場・千葉工場） 品質マネジメントシステム エコアクション21（国内全事業所） 環境マネジメントシステム		
環境管理責任者	葛西久志 執行役員管理部長		
事務局	岡田敦史・池田教子 管理部 TEL03-3810-7651		
事業所	本社事業所 東京都荒川区西尾久7-34-10 第二事業所 東京都荒川区西尾久7-57-8 御徒町事業所 東京都台東区台東3-42-5 新潟第一工場 新潟県南蒲原郡田上町田上丙913 新潟第二工場 新潟県南蒲原郡田上町田上丙2909-1 千葉工場 千葉県印西市みどり台2-3 札幌営業所 北海道札幌市東区伏古5条3-1-24 仙台営業所 宮城県仙台市若林区六丁の目北町4-30 新潟営業所 新潟県新潟市西区的場流通2-1-8 金沢営業所 石川県金沢市間明町1-26 東京第一営業所 東京都足立区鹿浜4-24-16 西東京営業所 東京都小平市花小金井3-1-24 埼玉営業所 埼玉県さいたま市西区宮前町1628-1 千葉営業所 千葉県千葉市稲毛区小深町31-1 東関東営業所 茨城県つくば市みどりの中央68-1 横浜営業所 神奈川県横浜市神奈川区青木町1-10 厚木営業所 神奈川県厚木市妻田西2-16-10 静岡営業所 静岡県静岡市駿河区下島428 名古屋営業所 愛知県名古屋市中川区広川町3-1-1 京都営業所 京都府京都市南区上鳥羽堀子町32-2 大阪営業所 大阪府大阪市港区波除1-1-13 関西物流センター 大阪府大東市新田北町4-24 高松営業所 香川県高松市鹿角町259-3 北九州営業所 福岡県北九州市小倉北区井堀1-15-16 福岡営業所 福岡県福岡市博多区板付1-11-29 沖縄営業所 沖縄県那覇市港町2-12-12		

2 対象範囲

事業活動	配管支持金具・立体駐車場装置・太陽光発電・LED・バーコードリーダー・植物工場等の企画・製造・販売
事業所	本社事業所、第二事業所、御徒町事業所、新潟第一工場、新潟第二工場、千葉工場、沖縄営業所、福岡営業所、北九州営業所、高松営業所、大阪営業所、京都営業所、名古屋営業所、厚木営業所、横浜営業所、東京第一営業所、西東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、金沢営業所、新潟営業所、仙台営業所、札幌営業所、静岡営業所、東関東営業所、関西物流センター
対象期間	2022年3月 ～ 2023年2月

SDGs 持続可能な開発目標の実現に貢献する6つの事業展開



**技術革新により
省力化・省コスト化を実現**

管材・耐震事業

ライフラインを支え、安心・安全な生活空間づくりに貢献。

らく吊X

2022年業績賞

**クリーンなエネルギーで、
環境負荷を低減する**

太陽光発電事業

Solar CarPort
E-PORTV

2022年 製造台数
5,000台

スーパーハゼグリップ**AX**

住み続けられる都市環境への貢献

パーキング事業

安全性と利便性に配慮した独自設計により、最適な機械式駐車場装置をご提案。

ICTソリューション事業

電子デバイスを通じて、企業活動における省力化、省コスト化の実現に貢献。

気候変動や食糧問題への貢献

日栄インテックの「農」と「食」のネクスト・アグリ事業

植物工場・生鮮事業

スーパーアグリプラント、最適な植物工場で安心安全な「未来の農産」をご提案。

スーパーリングシステム。革命的な新技術により、生鮮食品の鮮度保持の長期維持・保存を実現。

自然や生態系の保全に貢献

日栄インテックの「農」と「食」のネクスト・アグリ事業

アグリビジネス

送粉昆虫天敵製剤

自然の摂理を活用し、安心安全な農業へ貢献。

研究から販売まで、一貫した生産資材

3 環境経営方針

日栄インテック株式会社は、積極的に環境問題を認識し、優先課題と位置付けて、当社の事業活動のあらゆる分野で、自主的、積極的に環境保全に取り組みます

1. 当社は、配管支持金具・立体駐車場装置・LED照明・太陽光パネル架台等の製造、販売、施工、メンテナンスの事業活動を通じて、環境経営マネジメントシステムを構築し、環境経営目標・環境経営計画を定め継続的な改善に努めます。
2. 関連する環境の法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域の要請に協力します。
3. 配管支持金具・立体駐車場装置・LED照明・太陽光パネル架台等の製造、販売、施工、メンテナンスの事業に於いて、環境に与える影響を削減するために、次の事項に対して優先的に取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減
設備運転・空調・車両管理による、電気使用量・ガソリン、軽油、LPガス使用量の削減
 - ② 事業活動及び工事現場から排出される産業廃棄物の削減
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
 - ④ 生産工程での不良品の削減
 - ⑤ 化学物質の使用量削減
4. 生産活動での使用部品・物品・事務用品等グリーン購入に努め、循環型社会の実現に貢献致します。
5. 環境保全に関する啓蒙・啓発と、地域での社会貢献活動に努めます。

この環境経営方針は、当社全従業員に周知徹底するとともに、一般に開示します。

2020年3月1日

日栄インテック株式会社

代表取締役 高橋 善晴

4 環境経営目標

過去の実績データ等を加味し、2018年度を基準に目標を設定

取り組み項目	単位	基準年度 2018年度	2022年度	2023年度	2024年度
削減率	%	—	△4%	△5%	△6%
二酸化炭素排出量の削減					
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,944,086	1,866,323	1,846,882	1,827,441
電気使用量の削減					
電気使用量	kWh	1,712,360	1,643,866	1,626,742	1,609,618
ガソリン使用量	ℓ	223,816	214,863	212,625	210,387
軽油使用量	ℓ	193,040	185,318	183,388	181,458
LPG使用量	kg	11,613	11,149	11,033	10,917
廃棄物排出量の削減					
一般廃棄物	t	138.8	133.2	131.8	130.4
産業廃棄物	t	626.5	601.5	595.2	588.9
水使用量の削減					
水使用量	m ³	7,654	7,348	7,271	7,195
不良品の削減					
不良（品）率	%	0.170	0.163	0.162	0.160
化学物質使用量の削減					
化学物質使用量	kg	39,570	37,987	37,591	37,195

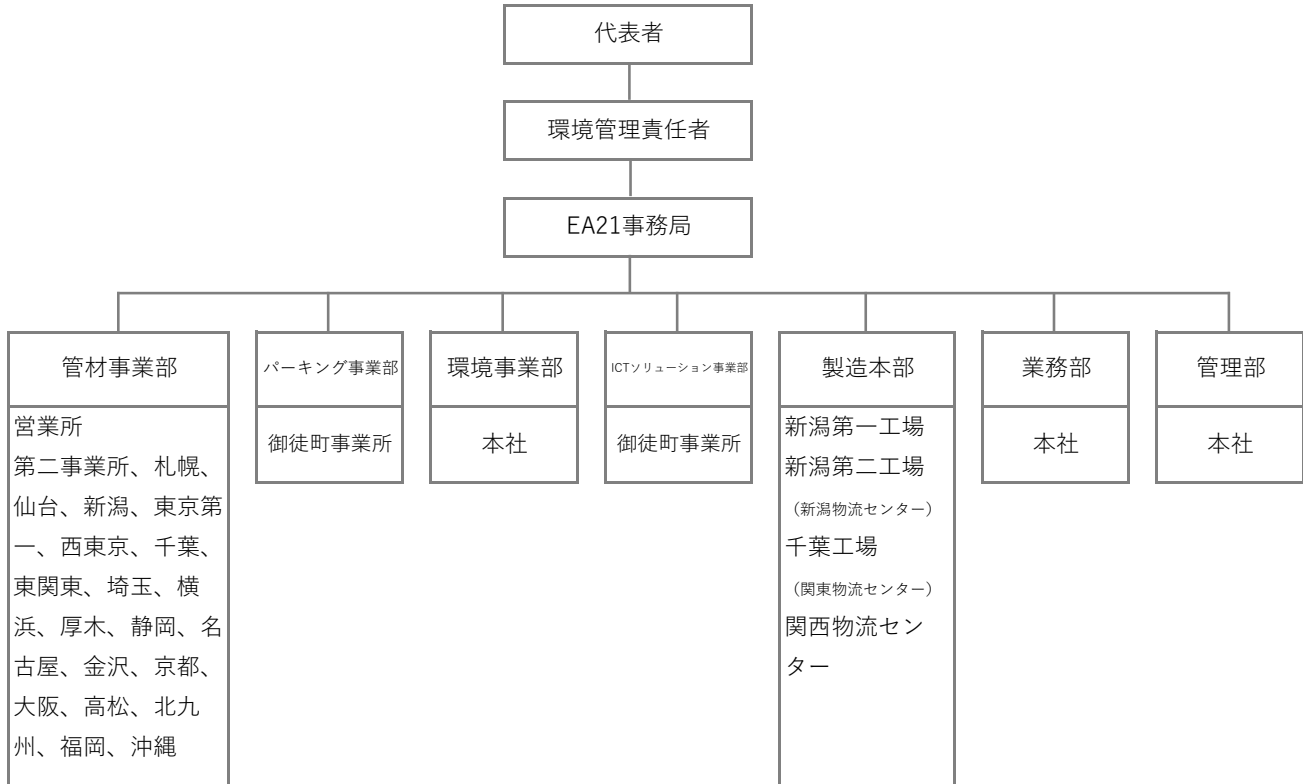
* 電力排出係数は2018年度調整後係数を使用（別表 事業所別電力排出係数参照）

5 環境経営計画

取組項目	対象事業所		取組内容と計画
	本社他	工場	
二酸化炭素排出量の削減			
電気使用量の削減	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	未使用時消灯の徹底 エアコン温度管理の徹底（夏季28℃・冬季22℃程度） 節電シール等の表示 昼休み等休憩時間の消灯 残業時間の削減検討 パソコン等の自動電源オフ設定 工場設備の計画的稼働
自動車燃料等使用量の削減	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	アイドリングストップの徹底 制限速度・積載量の遵守 エアコンの控えめ使用 車両の燃料使用量と走行距離のチェック 通信型ドライブレコーダーによる安全かつエコ運転の促進
廃棄物排出量の削減			
一般廃棄物	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	廃棄物の分別の徹底 コピー用紙の使用量削減 コピー用紙の再利用促進（リサイクルボックス設置） ミスプリントが無いよう事前確認（サイズ、枚数） 紙ゴミの再資源化（シュレッダー、雑誌等）
産業廃棄物	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	廃棄物の分別徹底 排出量のマニフェスト伝票管理 資材の計画的購入 不良品の削減
水使用量の削減			
	○ ○	○ ○	節水シール等の表示 使用量の管理（漏水対策）
不良品の削減			
		○ ○ ○ ○	発生時の対処方法の仕組み作りと徹底 品質管理部署での追跡・検査・管理徹底 発生原因の特定と是正措置・予防処置の徹底 不良品再利用の検討・実施
化学物質使用量の削減			
		○ ○ ○	不良品の削減 環境配慮型有機溶剤の優先購入 削減可能な設備への更新を検討
グリーン購入			
	○ ○	○ ○	環境配慮型商品の優先購入 再生資材の優先的仕入れ
環境保全			
	○ ○ ○	○ ○ ○	EA21 教育訓練の実施 環境経営 PDCAサイクルの確実な実施 事業所周辺の地域清掃等の実施

実施体制






2022年3月現在



	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の策定と見直し ・環境管理責任者の任命 ・代表者による全体の評価と見直し ・環境経営目標及び環境経営計画の承認 ・経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者 (管理部長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの構築・運用 ・環境経営目標及び環境経営計画／実績表の作成 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、全社的な環境活動の推進 ・環境への負荷及び取組チェックの実施 ・環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況確認 ・環境経営レポートの作成
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解 ・環境活動計画への取組

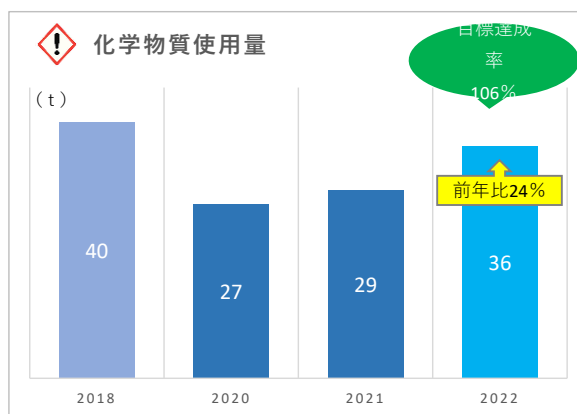
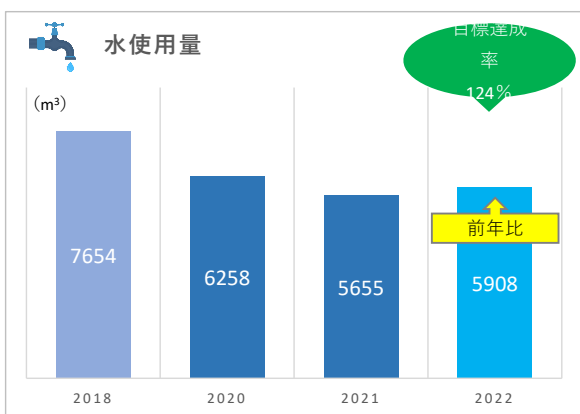
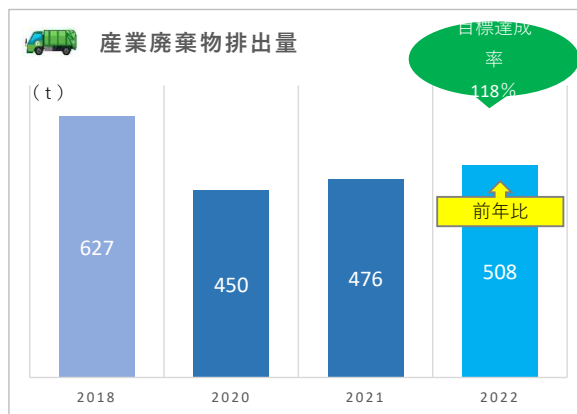
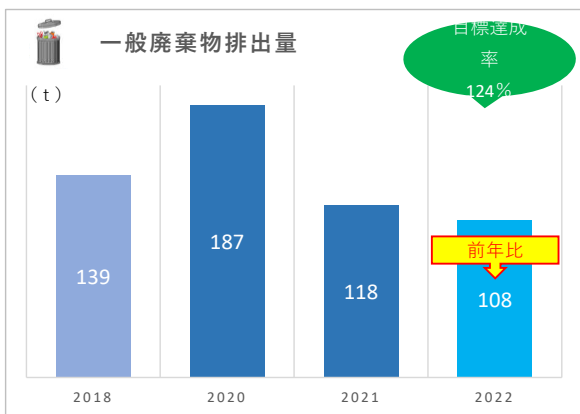
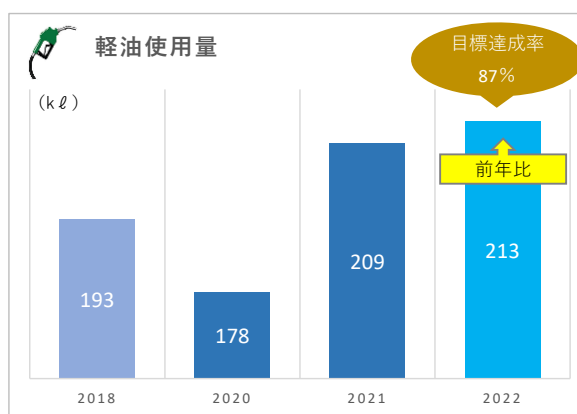
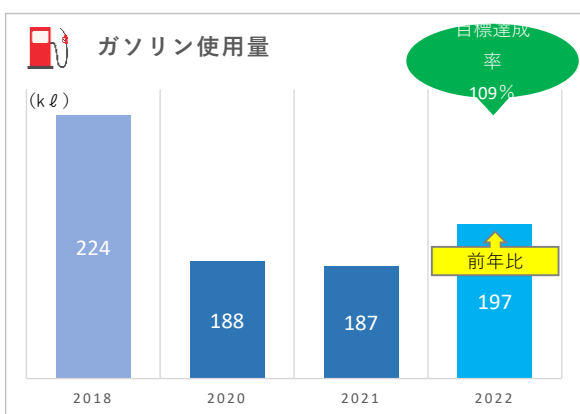
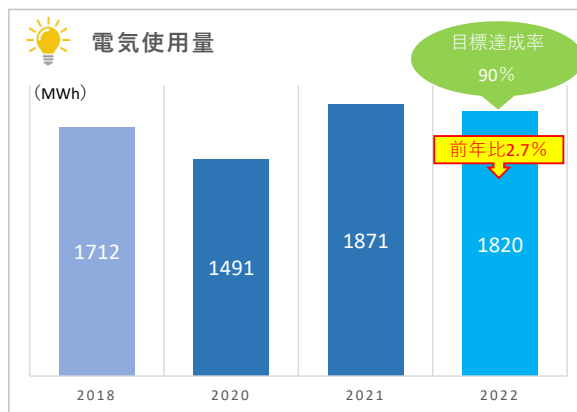
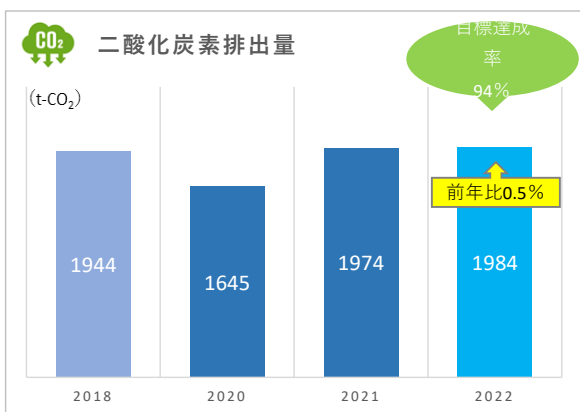
6-1 環境経営目標に対する実績と評価

評価 達成率 100%以上=○ 90%以上100%未満=△ 90%未満=×

取り組み項目	単位	基準年度 2018年度	目標 2022年度	実績 2022年度	評価	評価補足
二酸化炭素排出量の削減 						
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1,944,086	1,866,323	1,984,447	△	軽油の使用量が増加
目標達成率	%	-	-	達成率 94%		
電気使用量	kWh	1,712,360	1,643,866	1,820,040	△	前年比減だったが増産により削減幅が縮小
目標達成率	%	-	-	達成率 90%		
ガソリン使用量	ℓ	223,816	214,863	197,280	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 109%		
軽油使用量	ℓ	193,040	185,318	213,420	×	自社配送便の増便に伴うトラックの稼働増
目標達成率	%	-	-	達成率 87%		
LPG使用量	kg	11,613	11,149	9,582	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 116%		
廃棄物排出量の削減 						
一般廃棄物	t	138.8	133.2	107.6	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 124%		
可燃ごみ	t	-	-	61.9		
不燃ごみ	t	-	-	14.8		
産業廃棄物	t	626.5	601.5	508.1	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 118%		
再資源化	t	-	-	61.9		
水使用量の削減 						
水使用量	m ³	7,654	7,348	5,908	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 124%		
不良品の削減 						
不良（品）率	%	0.170	0.163	0.140	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 117%		
化学物質使用量の削減 						
化学物質使用量	kg	39,570	37,987	35,894	○	
目標達成率	%	-	-	達成率 106%		

* 電力排出係数は2018年度調整後係数を使用（別表 事業所別電力排出係数参照）

6-2 実績の推移 (2018年度基準)



□ 「らく吊®X」がグッドデザイン賞を受賞



当社主力製品の設備配管用吊り金具「らく吊®X」が2022年度グッドデザイン賞を受賞しました。

らく吊®Xは「ナットを外さずに（落とさないよう）施工できる吊りバンドが欲しい」という顧客からの要望をソリューション（課題解決）するため、業界トップクラスの開発力と自社工場 で培った技術力を結集し作り上げた製品です。その画期的かつ効率的な施工性による作業時間の大幅な短縮や安全性などを ご評価いただきました。この製品を様々な建築現場で活用いただくことにより、ひいては現場でのエネルギー効率の向上や働き方改革につながることを期待しています。

□ 衣料品のリサイクル事業「BRING™」のパートナーに

当社は株式会社JEPLAN様（旧社名：日本環境設計）が展開するケミカルリサイクル事業「BRING™（ブリング）」の趣旨に賛同し、2022年からリサイクルパートナーとなりました。

具体的には、リサイクルパートナーから不用になった衣料品を回収し、そのうちポリエステル製の繊維製品については原料のポリエステルにまで戻して（ケミカルリサイクル）新たな繊維製品に再生する、というスキームです。同パートナーは2022年7月現在約160社あり、その一社となった当社では今回初めて3.5kg相当の使用済み作業衣などの回収に協力しました。

工場などの一部拠点で限定的に試行していることもあり、まだ回収量はわずかですが、これを手始めに環境経営やSDGsへの取り組みの一環としてこの活動を全社に広めていく予定です。



□ 環境経営活動への理解促進のため社内報を活用



現在、Web社内報を四半期（四季）ごとに発行しており、内容は事業や従業員に関する情報など多岐にわたります。全従業員が目にするという利点を活かし、環境経営活動への理解促進や周知のため、拠点ごとの活動事例を年1～2回程度記事として紹介しています。「自拠点での活動の参考になる」などの声もあり、定期的な社内教育と併せ引き続き社内報を活用した社内周知を促進していきます。

7 環境経営計画の結果及びその評価、並びに次年度の取組内容

評価 ◎十分出来た ○ほぼ出来た △不十分

取組項目	評価		次年度の取組内容
	本社他	工場	
電力による二酸化炭素排出量の削減			
未使用時消灯の徹底	○	○	今年度の取組を継続 感染対策のため換気を優先し、エアコンの負荷増＝電気使用量増となった。今後はエネルギー効率を考慮した換気方法を実施
エアコン温度管理の徹底（夏季28℃・冬季22℃程度）	△	△	
節電シール等の表示	○	○	
昼休み等休憩時間の消灯	◎	◎	
残業時間の削減検討	○	○	
パソコン等の自動電源オフ設定	△	△	
工場設備の計画的稼働		○	
自動車燃料等による二酸化炭素排出量の削減			
アイドリングストップの徹底	△	△	今年度の取組を継続 環境保全条例等によるアイドリングストップの義務について引き続き周知する
制限速度・積載量の遵守	○	○	
エアコンの控えめ使用	△	△	
車両の燃料使用量と走行距離のチェック	○	○	
通信型ドライブレコーダーによる安全かつエコ運転の促進	○	○	
一般廃棄物の削減			
廃棄物の分別の徹底	○	○	今年度の取組を継続 本社でコピー用紙の削減に取り組み一定の成果があった。今後社内に展開する予定
コピー用紙の使用量削減	◎	○	
コピー用紙の再利用促進（リサイクルボックス設置）	○	○	
ミスプリントが無いよう事前確認（サイズ、枚数）	○	○	
紙ゴミの再資源化（シュレッダー、雑誌等）	○	○	
産業廃棄物の削減			
廃棄物の分別徹底	○	○	今年度の取組を継続 今後、継続的に実績値を記録し、3年程度の実績を踏まえ目標値の見直しも検討
排出量のマニフェスト伝票管理	○	○	
資材の計画的購入	○	○	
不良品の削減		○	
水使用量の削減			
節水シール等の表示	△	○	今年度の取組を継続
使用量の管理（漏水対策）	○	○	
不良品の削減			
発生時の対処方法の仕組み作りと徹底		○	今年度の取組を継続
品質管理部署での追跡・検査・管理徹底		○	
発生原因の特定と是正措置・予防処置の徹底		○	
不良品再利用の検討・実施		○	
化学物質使用量の削減			
不良品の削減		○	今年度の取組を継続 今後、継続的に実績値を記録し、3年程の実績を踏まえ目標値の見直しも検討
環境配慮型有機溶剤の優先購入		○	
削減可能な設備への更新を検討		○	
グリーン購入			
環境配慮型商品の優先購入	○	○	今年度の取組を継続
再生資材の優先的仕入れ	○	○	
環境保全			
EA21 教育訓練の実施	○	○	今年度の取組を継続
環境経営 PDCAサイクルの確実な実施	○	○	
事業所周辺の地域清掃等の実施	○	◎	

8 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

関連法規制等の名称	対象事業所		要求事項	遵守状況
	本社他	工場		
工場土地法		○	対象施設の届出、規制値の遵守	○
公害防止組織法		○	公害防止管理者等の選任と届出	○
浄化槽法		新潟工場	設置、変更時の知事への届出。水質検査（年1回）及び法定検査記録の保管	○
騒音規制法		○	対象施設の届出	○
振動規制法		○	対象施設の届出	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 （廃棄物処理法）	○	○	基準に適合した業者との委託契約。マニフェストの交付、保存など	○
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	○	○	使用済み物品等の再生資源・再生部品として利用の促進	○
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 （化学物質把握管理促進法）		○	SDSの受領、事業活動に伴う第1種指定化学物質の排出量及び移動量の把握。1000kg超の使用は知事への届出	○
労働安全衛生法		○	局所排気装置等の設置、換気装置の稼働、有機溶剤作業主任者の選任等	○
特定家庭用機器再商品化等の促進に関する法律（家電リサイクル法）	○	○	長期使用、廃棄の際、指定業者にリサイクル料金を支払う	○
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）	○	○	使用済みとなった自動車を引取り業者に引渡す	○
高圧ガス保安法		○	経済産業省の基準に従う。貯蔵は知事への届出	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）	○	○	フロン類回収業者に引渡す時は、回収依頼書を交付し、3年間保管 第一種特定製品の空調機器等の点検義務	○
消防法		○	消防用設備の設置、維持等に関する監督。消火、通報および避難訓練の実施	○
毒物及び劇物取締法		○	毒物及び劇物の管理、保管、表示、緊急時の届け出	○
悪臭防止法		○	規制値の遵守	○
水質汚濁防止法		○	排出基準の遵守	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	○		建築資材廃棄物の発生の抑制、再資源化、分別解体。登録または許可等に関する確認（年1回）	○
環境基本条例等 （東京都、千葉県、新潟県、大阪府等）	○	○	公害防止及び自然環境の保全に努める	○
建築基準法		千葉工場	届出、規制等の遵守	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、特に問題はありませぬ。なお、関係当局から違反等の指摘はありませぬ。

訴訟及び周辺住民からの苦情はありませぬ。

9 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示

全体評価	
環境への取組	
<p>環境経営方針や環境経営目標などに基づき、CO₂排出量など環境負荷の削減については適切に取り組みが行われている。</p>	
見直しの内容・指示	
総論	
<p>CO₂排出量は目標未達だったが、増収や増産などで多少止む得ない面があるにしても、それらの増減と環境負荷の増減が同調する状況を脱却する必要がある。当社は管材・耐震事業をはじめ、太陽光発電、パーキング、植物工場、生鮮倉庫、アグリビジネスなど、利便性や機能性はもとより環境負荷の低減に役立ち、またSDGsを意識した事業を展開している。にもかかわらず自社の環境負荷が増えては本末転倒である。今や環境経営やSDGsへの取り組みは社会からの命題であるから、狙って意図的に環境負荷を減らすことができるよう意識して取り組むこと。</p>	
評価結果	
環境経営システム	有効に機能している ・ 機能していない
環境経営方針の変更	有 ・ 無
環境経営計画の変更	有 ・ 無
環境経営目標の変更	有 ・ 無
実施体制の変更	有 ・ 無

別表 事業所別電力排出係数

* 2018年度調整後排出係数を使用 (kg-CO₂/kWh)

事業所	2020年度まで		2021年度以降	
	電力事業者	排出係数*	電力事業者	排出係数*
本社事業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	東京電力エナジーパートナー	0.462
第二事業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
御徒町事業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
新潟第一工場	東北電力	0.523	テプコカスタマーサービス	0.596
〃	—	—	大和ハウス工業	0.571
新潟第二工場	東北電力	0.523	エネット	0.442
千葉工場	新日鉄住金エンジニアリング	0.562	出光興産	0.476
札幌営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
仙台営業所	東北電力	0.523	大和ハウス工業	0.571
新潟営業所	東北電力	0.523	大和ハウス工業	0.571
金沢営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
東京第一営業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
西東京営業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
埼玉営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
東関東営業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
千葉営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
横浜営業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
厚木営業所	東京電力エナジーパートナー	0.462	大和ハウス工業	0.571
静岡営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
名古屋営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
京都営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
大阪営業所	KDDI	0.577	大和ハウス工業	0.571
関西物流センター	関西電力	0.418	大和ハウス工業	0.571
高松営業所	四国電力	0.535	大和ハウス工業	0.571
北九州営業所	九州電力	0.463	大和ハウス工業	0.571
福岡営業所	九州電力	0.463	大和ハウス工業	0.571
沖縄営業所	沖縄電力	0.772	沖縄電力	0.772